

福島県看護連盟だより

# ふくしま

第13号

平成21年1月発行

発行所／福島県看護連盟  
福島市渡利字舟場66-3 TEL.(024)522-9822  
発行責任者 笹原和子

F U K U S H I M A

新年号 看護協会との絆を深める

新年賀

スローガン  
ベッドサイドから  
政治を変える



固く握手をかわす西山会長と笹原会長



## 目次

## contents

- 平成21年 新年のあいさつ ..... P2
- 国会見学報告 ..... P3
- 会議・研修会報告 ..... P4~P5
- しゃくなげ支部(個人会員支部)設立・施設訪問 ..... P6
- 地方議員との連携・福島県看護連盟懇談会 ..... P7
- HPリニューアル告知・事務局から ..... P8

看護の心を、みんなの心に



ハートを擦ると  
うめの香りがします。

## 福島県看護連盟 会長 平成21年 新年のあいさつ



福島県看護連盟  
会長 笹原 和子

あけましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年を迎えられたと思います。日頃より看護連盟活動にご協力・ご支援いただきまして誠に有難うございます。

平成20年度は本部方針に基づいて、変化から強化「勝つ組織をつくりあげる」ことをベースにして下記の4項目を実践してまいりました。

- 1 地区別に施設訪問を実施してそれぞれの施設の現状を知ることが出来、また、訪問することで看護連盟への理解をいただく機会にする。
- 2 基礎研修に関しては計画的に実施、会員に浸透されている状況である。
- 3 青年部委員は活動の目的を認識し、仲間意識を大切に積極的に行動開始している。
- 4 県会議員との看護連盟懇談会を立ち上げ定期的に情報の交換を開始する。

平成21年度は実践してきた結果が形に見えるように取り組んでいきたいと思ひます。

保健師助産師看護師法制定60年が経過し、政策が変わることで看護界は大きく変わってきましたが、時代の流れの変化も急激で現場の厳しさは改善されない状況です。現場を変えることは政策を変えることです、看護職一人ひとりが政治に関心を持って行動することで自分たちの働きやすい環境を獲得できます。

今の国政の状況を見ているとそれぞれに捉え方があると思ひますが、看護職能団体としてどのように行動するか真摯に受け止めなければならないと思ひます。看護の組織力を強化して我々の代表を国政に送ることで、看護協会の目的を達成できるのではないのでしょうか。

今看護協会との連携の絆を深め組織人として看護力を結集、一致団結して社会の期待に応えるようにしていかななくてはなりません。政治の力なくして看護政策の実現はありません。その為に看護連盟の組織力が大きく左右します。福島県看護連盟が益々発展するため皆様のご協力をお願い申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

## 福島県看護協会 会長 平成21年 新年のあいさつ



社団法人 福島県看護協会  
会長 西山 郁子

新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年の始めにあたり、皆様はどのような夢を托されたでしょうか。

福島県看護協会と看護連盟は、それぞれの目的を持って活動を開始して5年目の年を迎えました。この間、相互の役割を尊重し、連携を図りながら、会員の増大、政策提言と実現に向けて、一貫した活動を推進してきたところです。

すでに、今年は介護報酬の改定をはじめ、昨年度からの課題になっています看護職の確保定着等改善しなければならない事項が山積しています。また、医療の分野のみならず多方面から、看護職が専門性を発揮することに多大の期待が寄せられています。

本年も皆様のご支援、ご協力を賜り、共に尽力するとともに、皆様のご多幸をお祈り申し上げあいさついたします。

# 国会見学報告

期日 平成20年10月16日(木)

参加人数 74名

20年度活動計画の一環として国会見学を実施した。県内各地区より74名の方が参加、好評のうちに実施することが出来た。国会見学終了後、県選出の国会議員と懇談会を開催、看護と政治との関係を深める機会になった。



南野知恵子参議院議員と路上での握手



岩城光英参議院議員よりお話をいただく

## 「国会見学に参加して」

白河厚生総合病院 蛭田 好郁

学生時代の修学旅行では国会議事堂とは縁がなく、今回初めて国会議事堂の見学をしました。伝統ある建物は風格があり、今では入手困難な材質も多数使われているとのことで目を奪われるばかりでした。

残念ながら南野議員は国会会期中で、お話を聞かせていただくことはできませんでしたが、自民党本部から外に出てご挨拶をいただきました。各議員の方たちも大変お忙しい中で、貴重なお話をさせていただきました。私の中で印象に残ったことは、選挙は政党を選ぶのではなく議員を選ぶという事です。当たり前のことのように意外とみんな忘れてしまっていることだと感じました。

現在、看護を取り巻く環境は様々な問題を抱えています。現場の声が国会に届かなければ環境の改善は難しいのです。私たちの声を私たちの代表から国会へ届けていただきたいと思います。たくさんの方が体験できた1日でした。

## ■ 国会見学に引き続き日本看護協会会館も見学することができました。 ■



会館内を案内する石田幹事長



会館の外観

# 会議・研修会報告

## 青年部研修会

期日 平成20年9月21日(日)

会場 ビッグアイ7F大会議室  
会津若松ワシントンホテル

講演

テーマ 「看護師の誇り」

グループワーク

テーマ 「看護の環境みんなで変えよう」

講師 A-LINE 株式会社 代表取締役社長  
日本看護連盟 幹事 中 友美

～中 友美と語る～



青年部委員長 村岡 耕栄

青年部委員会発足後はじめて青年部主催で、研修会を開催しました。午前中は郡山、午後は会津若松と2会場で行い、150名という多くの参加がありました。講師には、日本看護連盟幹事の中友美先生をお招きし、「看護師の誇り」というテーマで講演をいただき、その後「看護の環境みんなで変えよう」という身近な問題を取り上げたテーマで、今、自分たちがどの様に活動をしていかなければいけないのか、具体的にわかりやすい言葉で説明をしていただきました。参加者一人ひとりが、中先生の言葉に真剣に聞き入り、なかにはメモをされている方も見られました。今回、研修会を開催した事により、自分も含め、連盟会員の方々に会員一人ひとりの役割が認識されたように感じました。今後も連盟会員一人ひとりの声に耳を傾け、連盟の啓蒙活動に努めたいと思います。

## 平成20年度 第2回 支部役員徹底研修

「支部役員徹底研修に参加して」

福島第1支部 支部長 富田 仁子  
(福島赤十字病院)

期日 平成20年10月18日(土)

会場 JNAホール



この研修には全国各地から約160名の支部役員が集まり、新米である私も参加してきました。見藤会長・菊池幹事・阿津常任幹事による議義があり、南野議員が挨拶に見えました。特に見藤会長のお話はエネルギーで心に響きました。そして、しっかりと支部活動を行っていかなくてはならないと、役割の重大さを改めて認識しました。看護職個々は本当によく頑張っています。臨床現場には種々の問題が存在しています。私たちがやりたい看護ができるようにするには、労働環境の改善が必要であり、看護職が団結して力を示していかなくてはなりません。今後、会員と共に連盟活動に関する理解を深めていきたいと思っています。

## 看護連盟基礎研修

期日 平成20年10月30日(木) 10:00~12:00

会場 コラッセふくしま多目的ホール

講師 日本看護連盟 常任幹事 阿津 公子

目的 看護連盟を理解し会員として行動できるようになる

参加者 81名



## 都道府県別会議

期日 平成20年10月30日(木) 会場 コラッセふくしま

### 1.報告事項

- 1)本部より (1)会員獲得目標調査の結果について
- 2)都道府県より (1)施設訪問の進捗状況について
- (2)基礎研修の進捗状況について
- (3)重点対象の取り組み状況について

### 2.協議事項

- 1)会員獲得の方策について
  - ・どうやって会員目標数を獲得するか
  - ・効果的な施設訪問の方法について
- 2)県・支部の組織強化の方策について
  - ・支部増設の見通し
  - ・支部活動強化のための組織のあり方
- 3)基礎研修重点対象の取り組みについて
  - ・基礎研修50%受講の実施にむけて
  - ・重点対象の取り組みと今後の計画等について



## 県内各支部基礎研修



期日 平成20年9月27日(土)

会場 白河厚生総合病院

講師 福島県看護連盟会長  
笹原 和子

県南地区幹事 草野美智子

県南地区では基礎研修会を、福島県看護連盟会長をお迎えして、第1支部と、第2支部合同にて、9月27日14時から、白河厚生総合病院の2F大会議室において、1回目を行いました。個人会員も含めて78名の参加者でした。講演終了後、会長から「今回の研修会で看護連盟の取り組み・看護協会と看護連盟の関係について理解できましたか」との問いかけに、ほとんどの参加者が挙手をしていました。参加者の感想の中に、1.日頃現場不満を、管理者のせいにして、愚痴を言ったりしていたことは、制度や法律が関わっているということが解り、看護連盟活動の大切さが解った。2.新人看護師の教育の見直し、子育てと仕事の両立の問題、適切な人員配置等制度の見直し、必要なことが解った。3.働きやすい職場作りをいつも考えて努力しているが、個人や施設だけでは限界があり、やはり政治の力が大切と考える。と多くの感想があり有意義な研修会となりました。

## しゃくなげ支部(個人会員支部)設立

期日 平成20年9月30日(火)



個人会員の方には、看護連盟活動に対して積極的に活動・支援を頂いていたが、より組織を強化し個人会員の充実定着を深める上で、福島県看護連盟として組織の位置づけを明確にして活動しやすい体制を整備した。

設立目的～OB会員が培ってきた知識・情熱・看護を愛する熱意を看護連盟活動に活かす。新支部名～県内全体で活動するということで県の花「しゃくなげ」とした。

支部長・幹事長・地区担当幹事を明確にして、県・支部との連携を図りながら活動する。しゃくなげ支部の会を開催し、今後の活動のあり方を協議した。会員の前向きな姿勢に今後の活動の成果が期待できる。今後定年退職者の看護連盟会員継続をお願いしたい。

## 施設訪問

〈勝つ組織をつくりあげる〉

組織強化策として看護連盟を理解いただくための施設訪問を実施しました。各施設の看護部長さんにご賛同をいただき協力をお願いするため、今年度の目標にそって県内全域を計画的に訪問しました。連盟会員が不在の施設も訪問し賛同を得ることができました。

看護の現場を変えるには、「自分たちが行動をしなければ進展しない」ことの気づきを得る機会になったのではないかと思います。平成21年度は別なコースで訪問させていただきますのでよろしく願います。(会長)

### 訪問施設数

期日 平成20年8月29日(金)～10月31日(金)

■郡山地区	7施設	■会津地区	5施設
■県南地区	3施設	■相双地区	5施設
■いわき地区	7施設	■県北地区	7施設
..... 合計34施設			

### 「施設訪問を実施して」 いわき地区幹事 薄井 公子

期日 平成20年10月6日(月)

あいにくの雨模様の中、いわき市内7病院を訪問いたしました。訪問先では多忙の中、快く迎えていただき感謝申し上げます。

笹原会長と2人で挨拶をかねながら、会員の状況や現場での問題など伺う一方、会員増のためのお願いや活動推進の方策など、看護管理者と直接お話する機会が得られ、意義深い訪問であったことを実感いたしました。

施設訪問の中で、今まで会員がいなかった病院で看護管理者の交替があり、21年度は是非会員となり、院内に理解が得られるように働きかけたいと力強い言葉をいただきました。また、労働組合の力が強く活動がむずかしい病院、経営陣の変更があり、活動しにくいと感じる病院、連盟に対する理解や認識が浸透しにくい病院等、問題をかかえています。

20年度の重点事業である基礎研修をしっかりと行ない、今私達ができることは何かを見極め看護連盟に対する理解と認識を高められるように努力を重ねたいと思います。

## 地方議員との連携

### 「県会議員による夜勤見学を実施して」

幹事長 本内 敦子

期日 平成20年10月18日(土)・19日(日)

福島、郡山、会津の3地区で「福島県会議員による夜勤現場の見学」を実施致しました。この見学は、福島県会議員が看護連盟に協力支援体制を図る上で看護師の夜勤実態を把握するという目的がありました。実施病院は、北福島医療センター、総合南東北病院、会津中央病院の3病院でした。午後6時から8時までの見学で想像していた看護師の夜勤とは違い、余裕のない看護の実態に驚きと高い関心を示され、予定時間をかなり延長しました。参加した福島県会議員は、福島地区が平出孝朗と桜田葉子、郡山地区が渡辺義信と勅使河原正之、会津地区は平出孝朗と杉山純一の各議員です。「急速な高齢化に対応できる看護体制はまだ十分ではなく、患者により多く寄り添える看護師の数と質の確保は課題です。もっと看護への理解者を増やし、支援していきたい。」と心強い感想をいただきました。これを契機に協力支援体制が強化されることを期待します。



## 福島県看護連盟懇談会

期日 平成20年10月28日(火)



### 目的

地方議員と情報交換し看護の現場を理解いただく。安心安全な体制を構築するため医療現場の問題など情報を提供して改善策を議員が支援する。

県会議員7名と看護連盟担当役員がテーマを設けて定期的に協議し、担当県議は県議会に要望・質問など我々の代弁をする。

それに伴い医療現場の状況を知るため夜間看護現場を訪問され、看護の厳しい実態を理解していただくことができた。

福島県看護連盟のホームページが  
リニューアルされました。  
皆様、是非ご覧下さい。

福島県看護連盟  
FUKUSHIMA NURSING FEDERATION

ホーム

看護連盟とは

入会のご案内

看護連盟だより

リンク

お問い合わせ

看護連盟とは...  
看護連盟の母体である、社団法人日本看護協会は「質の高い看護の提供」を目的に、会員への教育や福利厚生等支援活動を通じて日本の看護水準の向上を図るため、昭和21年（1946年）設立されました。

お知らせ  
【お知らせ】  
■石田幹事長研修会のお知らせ（会場を変えて午前・午後の2回開催します）  
期日 平成20年12月12日（金）  
会場 午前 郡山ビューホテルアネックス AM10:00~11:45

看護連盟だより  
連盟の活動報告、  
医療や看護の情報をなどを  
掲載。  
詳しくはこちら

入会のご案内  
皆様の入会を  
お待ちしております。  
詳しくはこちら

福島県看護連盟  
〒960-8141  
福島県福島市渡利字舟場66-3  
TEL 024-522-9822  
FAX 024-522-9823

福島県看護連盟 検索

会長通信も  
始まりました。



## 21年1月よりWeeklyアンフィニの配信方法が変わります。

Weeklyアンフィニは21年1月より各施設の看護職責任者様宛に配信されることになりました。  
なお、各会員様にはメールマガジンで同じ内容が送られますので、福島県看護連盟ホームページお問い合わせより、「メルマガ希望」と「連盟会員番号」を入力の上送信してください。

### 事務局から

皆様、会員の  
更新手続きは  
お済みでしょうか？  
お忘れの方は  
早目に手続きを  
お願いします。



### 編集後記

会員の皆様あけましておめでとうございます。  
昨年も医療現場での変革や事件が多く、看護職の皆様も政治とのかかわりを意識する機会が多かったのではないのでしょうか。平成21年も「連盟だより」では看護と政治について皆様にわかりやすくお伝えしてまいります。

#### 広報委員メンバー

副会長	服部 幸子
幹事	薄井 公子
委員	武田 治美
委員	大内 京子
委員	斉藤 ひと美
委員	深谷 すが

